

庄内町立小中学校再編整備実施計画（案）に関する意見募集の結果について

令和 7 年 1 月 29 日

庄内町教育委員会

- 1 意見募集期間 令和 6 年 12 月 26 日（木）から令和 7 年 1 月 20 日（月）まで
- 2 意見提出人数 5 人
- 3 提出意見と意見に対する教育委員会の考え方

※いただいたご意見は、極力原文のまま掲載しています。

番号	提出された意見	回答
1	とにかく、町内にプールを建設して欲しい。子供達の習い事の 1 番が水泳です。川で溺れる子供を無くす為にもプールは必須です。年寄りの運動にもプールの浮力を利用しての運動するのに 1 番いいのがプールです。酒田方面、鶴岡方面にプールがあるじゃないかと言われればそれまでですが、毎日通うのには大変です。雪道での事故を考えると、行けません。プールの建設を切にお願いします。梵天のプールが無くなり、メタボ真っしぐらです。	貴重なご意見ありがとうございます。新小学校にはプールを設置予定です。教育委員会としましては、現時点で社会体育施設としての公設プールの建設や新小学校のプールの一般開放は考えておりません。
2	小学校の統合をもう少し早めてほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。建設に伴い土地の調査や設計、法手続きに 4 年程度はかかると見込んでおります。また、本町の財政状況を考慮すると、中学校整備との同時進行は厳しいものと捉えており、そのため新小学校の開校は、最短でも令和 14 年度を予定しております。
3	【以下、3-1～3-12 まで】	貴重なご意見ありがとうございます。長文につき以下項目ごと回答させていただきます。
3-1	この案を見たとき旧立川町切り捨てが始まったと強く感じられた。人口などの問題があるのはわかるが対等合併だったはず。再検討をお願いしたい。	旧立川町でも旧余目町でもなく、庄内町としての将来を見据えての案ですので、ご理解いただければ幸いです。
3-2	学校が余っているのに何故新校舎が必要なのか？	既存の小学校校舎を改修する場合、本町で一番新しい余目第四小学校でも昭和 51 年建築のため、主体構造部を含む大規模な改修が必要と

		なり、多額の工事費が掛かると推察されます。そのため、この先を見据え、新校舎の建設が適切と考えます。
3-3	地震については旧余目町のリスクが高いのではないかと？建物の倒壊・火災など。狩川は震源（断層）に近いだけで学校周辺には建物が少ない。	学校周辺に高層建築物があるなどの環境でなければ、周辺建物の倒壊等によるリスクはないと考えられますので、旧余目町の地震のリスクが高いとは考えていません。
3-4	(狩川の) 水害については最上川の決壊箇所が予測できているので今後国の対応が可能なのではないかと？	ハザードマップに示された浸水区域は、200m 毎に堤防が破堤した場合の最大浸水域を繋いだものです。また、洪水時どこが堤防が早く決壊するかは、その時々々の状況、河道内の土砂堆積状況や樹木繁茂の状況などによって変化するため、必ず予測できるものではないと聞き及んでおります。
3-5	通学距離の文部科学省の基準（2～6 キロ）からすると狩川が真ん中ではないかと？	文部科学省では、地理的条件、地域の実情を踏まえた適切な通学距離の基準を設定することが望ましいとしております。
3-6	新校舎建設基準は両候補地とも同じ点数だ。	ご指摘いただいた点数は、学校用地候補地選定庁内会議において、各課から提案された 12 か所の候補地のうち再編整備検討委員会へ4か所選定するために適正配置、教育環境等の7項目から評価した結果同点となったものです。その後、再編整備検討委員会では4か所の候補地のうち「周囲の施設が充実しているため、まちづくりの視点で優位」、「交通アクセスが良く、避難所としても利用できる」、「地震、洪水等の自然災害に対する安全性が高い」、「長期コストを考えると候補地の中では最適」、「小中連携がしやすい」などの理由により「響ホール北側」が望ましいという意見が約8割となりました。一方「立川小中学校敷地」が望

		ましいとした約2割の方の主な理由は「庄内町のほぼ中心にある」、「山、川、田などがあり教育環境として優れている」、「立谷沢地域にも子どもがいるということ視野に入れてほしい。」などがありました。
3-7	スクールバスの維持費には文部科学省の補助があるのでは？	ございません。
3-8	土地取得に 53 億円かかるが補助金はあるのか？	ございませんが、地方債を活用する予定です。なお現時点での積算となりますが、土地取得費（造成費込み）5 億 3 千万円を見込んでいます。
3-9	（両候補地を比較した場合）スクールバスの運行費用で 6 千万円違いがあるが、文科省の補助があるなら問題ないのでは？	実施計画案にも記載しておりますが、中学校を考慮した最新の積算では、年間で 1 億 6 千万円ほどの差額となっております。繰り返しになりますが、補助はないため差額は町の負担となります。
3-10	校舎についても新築で国の補助金 2 分の 1 で 17 億円（34 億円）土地含みで 87 億円（補助金使っても 70 億円）SDG・s の時代使えるものは使ってほしい。	土地取得費（造成費込み）は 5 億 3 千万円ですので、総額で 38 億円程度と想定しておりますが、補助金や地方債を活用することで町の実質負担は総額の 2～3 割程度と見込んでおります。また、現校舎を利用しない理由は、番号 3-2 の回答を参照ください。なお、学校備品など再利用できるものは活用するように努めます。
3-11	給食センター（共同調理場）が狩川にありながら、配送時間がかかることは無駄である。	共同調理場は平成 29 年 6 月に竣工されたことから移転などは考えておりません。共同調理場の建設にあたっては、平成 19 年に基本方針を策定し、余目地域を含む候補地の中から、現在の場所を選定しています。配送時間に関しては、現在も余目中学校や余目地域の幼稚園にも配送しているため、やむを得ないと考えます。
3-12	廃校になる学校の使い道が示されていない。	実施計画案にも記載しておりますが、計画決定後に検討する予定で

		す。
4	<p>小中学校再編整備実施計画(案)を拝見し、私は小中両方とも「最初から1校」が望ましいと思います。少子化に伴い児童や保護者の負担、地域との関わりを考えれば、庄内町として“今後の教育方針の目標”が設定できるのではないのでしょうか。</p> <p>「学校づくりはまちづくり」です。検討委員会の意見(抜粋)にもあるように、小中連携した教育活動ができる「響ホール北側」が望ましいと思います。周囲の環境施設が充実している、交通アクセスが良い、自然災害に対する安全性が高い、スクールバス費用や新小学校建設費用等、長期コストを考えても「響ホール北側」が最適だと思います。庄内町全体として考えても、「安心して子育てをするなら庄内町」といわれるような環境づくりが必要です。また、再編整備を進めていくのと同時に、学童の方向性も併せて検討していただきたいです。新小学校の敷地内か、第四小学校のように学校に併設していただきたいです。教育委員会と子育て支援課(応援課)が一緒になって、子ども達の安全安心な環境づくりをお願いします。部活動の地域移行に伴い、スポーツ少年団や響ホール事業推進協議会等も受け皿となるとのこと。地域で子どもたちを応援できるような仕組み、立川地区の自然や歴史を学ぶ課外活動、地域の伝統や未来への伝承、魅力ある新校舎の建設をお願いします。令和14年4月を目途に、新小学校を開校するとあります。できたら、一年でも早く方向性を決定していただき令和生まれの子どもたちが小学校にあがる2031年(令和13年)開校を希望したいと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。学童保育所に関しましては、子育て応援課が主体となり教育委員会と連携しながら検討している状況です。小学校の開校時期については、番号2の方の回答を参照ください。</p>
5	<p>実施計画整備作成について、町民への周知がほとんどなされず十分な検討がないままに進められているのではないかと感じている。また重視した点について、ハザードマップによる浸水域の問題が大きく取り上げられているが、立川小中学校まで浸水するとなると庄内町が壊滅的な状況になることを意味している気がする。また、立川中学校の体育館は2階に位置しており、避難所としては大きな問題は無いのではないかと考える。また、庄</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。小中学校の再編整備については令和元年より5年間に渡り進めてまいりました。数度に渡る町民アンケートや適正規模適正配置審議会、再編整備検討委員会を経ての今回の実施計画案となります。再編整備に関する情報に関しましては、その都度、町広報や町ホームページにも掲</p>

<p>内平野東縁断層帯南部と隣接していると言うが、震災については当然のことながら予期せぬ状況が多々考えられ、震度7と6強だけで判断することにあまり大きな意味は無いのではないかと。また、小中連携での教育の良さが強調されているが、それだとすると小中一貫校にするという発想はなかったのか。また、果たして額面通り小中連携がうまく進むのか教育委員会の手腕が大きく問われる気がする。学校が離れていても必ずしも小中連携ができないと言うことはないのではないかと。また、徒歩通学圏の数値が出ているが、これまでの多くの例を見るとスクールバスの要望地区が増加し、なし崩しにならないか心配である。経費についてもスクールバスの経費の比較はあるが、建設費については述べられていないのではないかと。用地買収や建設のための費用がどのくらいになるのか。その対比も出しておくべきではないのかと感じている。後々になってこんなはずではなかったと指摘されないように対応して頂いた方がよいと考える。町の将来、子どもたちの将来に関する事である。建設のためには、多額の税金が使われることを考えると拙速に結論を出すのではなく、十分に検討し町民の納得の上での対応を期待したい。</p>	<p>載しているところです。自然災害リスクに関しては、2つの候補地を比較した場合、「響ホール北側」の方が、リスクが低いと考えます。小中一貫校については、今年度開催した再編整備検討委員会では議論になりませんでした。スクールバスについては、今後も保護者からの要望はあるかと思いますが、一定の基準を設けて対応していくべきと考えております。また、建設費についてもホームページに掲載している資料で公表しておりますが、「響ホール北側」は建設費や用地取得費（造成費込み）はかかるものの「立川小中学校敷地」の長期間でのランニングコストと比較すると優位と判断しております。候補地の選定については、町の将来、子どもたちの将来を見据えて、総合的に判断したものでございますので、ご理解いただければ幸いです。</p>
--	---